

「D 身近な消費生活と環境」を中心に ABC を展開し、持続可能な社会を生きる力を

第1学年

学習内容 (頁は教科書該当頁)	時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
家庭分野ガイダンス 自立をめざして学ぼう! (p.11～15)	1	■小学校の復習と中学校3年間の学習の見通しを立てよう。
B 食生活と自立	1. 健康と食生活 (p.68～87) ①食事について考える ②生活のリズムと食事 ③栄養素のはたらきと食品 ④中学生に必要な栄養 ⑤食事の計画	■自分の食生活に関心をもち食事の役割を知ろう。 ■健康によい食習慣について考えよう。 ○食生活をチェックし、問題点をあげる。 ☆問題点が見つけれられるようにする。 ■栄養素の種類とはたらきを知ろう。 ■中学生に必要な栄養の特徴について考えよう。 ○身体に必要な栄養と栄養素のはたらきを知る。 ☆栄養について具体的に資料を見せ、説明する。 ■食品の栄養的特質を知ろう。
	2. 食品の選択と保存 (p.88～101) ①食品が口に入るまで ②生鮮食品の選び方 ③いろいろな加工食品 ④加工食品の表示 ⑤加工食品の選び方 ⑥保存のしかたを考える ⑦食品の安全と情報	■食品の品質を見分け、用途に応じた選択を試みよう。 ○ハンバーグづくりから食品の購入の仕方を考える。 ☆環境に配慮した購入の仕方を提案する。 ○調理実習で使う生鮮食品の性質や良否を見分ける。 ☆原産地表示を参考にさせる。 ○加工食品の原材料や保存などを理解する。 ☆身近な加工食品の例をあげる。 ☆市販品と手づくり品を比較させる。 ○加工食品をポスターで宣伝する。 ☆品質表示調べやマークを意識させる。
	3. 調理をしよう (p.102～133) ①調理の計画 ②調理の基本 ③肉の調理 ④魚の調理 ⑤野菜の調理	■基礎的な日常食の調理をしよう。 ○中学生の1日分の献立を考え調理を計画する。 ☆手順や時間、後始末や評価までを説明する。 ■安全と衛生に注意しよう。 ■食品や調理用具の適切な管理をしよう。 ○適切で安全な洗い方、切り方、使い方を考える。 ☆小学校の学習を復習させながら、正しく衛生的で安全な扱い方を身につけさせる。 ☆盛りつけや配膳についても説明する。 ○梨の皮むき(テスト・小学校の復習・廃棄率) ○しょうが焼き(肉の性質・プロックロー) ○ムニエル(魚の性質・粉ふきいも) ○けんちん汁V.Sミネストローネ(野菜の性質・汁もの)
	4. 地域の食材と食文化 (p.134～141) ①地域の食材と郷土料理 ②受け継がれる食文化 ③地域と世界へ目をむけて	■地域の食材を生かした調理をする。 ■地域の食文化を理解する。 ○行事食や郷土料理に挑戦(年越しそば・お節料理)。 ☆行事食や郷土食の良さを理解させる。 ■食料事情を目をむけ、食生活と環境との関連を意識する。
	生活の課題と実践(食生活) (p.246～249)	■課題をもって日常食や地域の食材の調理などの活動を工夫し実践する。 ○問題点を改善して工夫する。 ☆食生活の見直しや問題解決学習をすすめる。
D 身近な消費生活と環境	1. 家庭生活と消費生活に必要なものの流れ (p.208～209)	■自分や家族の消費生活に関心をもつ。 ○消費者として物質・サービスを購入し、適切な行動をとる。 ☆小学校の学習をふまえ、優先順位を考えた計画性を意識させる。
	4. 環境に配慮した生活 (p.226～231) ①環境への影響を考える ②エネルギー消費とCO ₂ 排出を減らす ③水を節約し、排水の汚れを減らす	■自分や家族の消費生活と環境への影響について考える。 ○家庭生活で使用している水やガス、電気などからゴミの減量化や節約を工夫する。 ☆持続可能な循環型社会を意識させる。 ☆具体的な生活から題材例を挙げる(エコクッキングなど)。

第2学年

学習内容	時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
A 家族・家庭と子どもの成長	1. わたしの成長と家族 (p.18～21) ①わたしの成長 ②わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと	■家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりを知ろう。 ○自分の生活をふり振り返り家庭のさまざまな活動をあげる。 ☆具体的な事例をあげたり新聞を活用する。
	2. わたしと家族・家庭と地域 (p.22～27) ①家庭のはたらき ②家庭生活を支える仕事 ③わたしたちの家庭生活と地域	■自分と家族のかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくしよう。 ○家族関係をロールプレイングにより具体的に考える。 ☆家族とのコミュニケーションの改善を図る。
	3. 幼児の生活と遊び (p.28～39) ①幼児期ってどんな時代? ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ④子どもの成長と家族の役割 ⑤子どもの成長と地域	■幼児の発達と生活の特徴を知ろう。 ○自分の幼児期をふり振り返り、周囲の幼児を観察する。 ☆幼児と身近な人びととの接し方を観察や視聴覚教材を活用する。 ■子どもが育つ環境として家族の役割を理解しよう。 ○家族と幼児のかかわりをロールプレイングする。 ☆G.Tを活用し具体的な話し方や接し方を見せる。
3. 幼児の生活と遊び (p.40～47) ①幼児の遊びと発達 ②幼児の遊びを支える	■幼児の観察や遊びを考えよう。 ○公園や幼稚園で遊んでいるようすを見に行く。 ☆発達段階に応じた遊びを考えさせる。	

学習内容	時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
A 家族・家庭と子どもの成長	4. 幼児とのふれ合い (p.48～55) ①ふれ合い体験の前に ②ふれ合い体験をする ③ふれ合い体験をふり返る	■遊び道具をつくってみよう。 ○遊び道具を製作し遊び方を工夫する。 ☆安全への配慮やコミュニケーションを考えさせる。 ☆市販品や自然の物との比較をする。 ■幼稚園に行つて一緒に遊ぼう。 ○ふれ合い体験をしてかかわりを工夫する。 ☆幼稚園との連絡を密にかり安全に配慮する。 ■体験活動を記録しよう。 ○ふれ合い活動を新聞や日記にまとめる。 ☆活動前と後の変容を記録させる。
	5. これからのわたしと家族 (p.56～65) ①中学生と家族とのかかわり ②これからのわたしと家族との関係	■中学生と家族とのかかわりをよりよくする。 ○ロールプレイングで家族の気持ちを考える。 ☆立場が違う人の気持ちを理解させる。 ☆様々な家族形態や地域の支援活動などを知らせる。
C 衣生活・住生活と環境	1 自分らしく着る・快適に着る	1. 日常着の活用 (p.148～157) ①衣服のはたらき ②自分らしく目的に合わせた着方 ③衣服の活用と選び方 3. 環境に配慮した衣生活 (p.170～173)
	2 快適に住まう	1. 住まいのはたらき (p.174～179) ①住まいのさまざまな役割 ②共に住まう 2. 安全な住まい (p.180～183) ①住まいの安全対策 ②災害への備え 3. 快適な住まい (p.183～187) ①室内の空気調節 ②住まいと音
D 身近な消費生活と環境	2. 商品の選択と購入 (p.210～217) ①商品購入のプロセス ②生活情報の活用 ③商品の価格 ④販売方法と支払い方法	■衣服と社会生活のかかわりを知り、TPOや個性に応じた着方を工夫しよう。 ○小学校の復習と社会的機能を知る。 ☆行事や所属を表す衣服を具体的に示す。 ○制服についてのディベート、浴衣の着用により和服と洋服の比較をする。 ☆TPOを意識した着方や工夫を班活動により調査、実演する。 ■計画的な活用や適切な選択の仕方を身につけよう。 ○衣服の過不足を実生活から考える。 ○表示や入手方法をTシャツを活用して考える。 ☆班での話し合いや調査をもとに具体的な衣生活の場面を想定させ、環境にも配慮させる。 ■家族の住空間と基本的な機能を知ろう。 ○仮想家族(アニメなど)の住空間と生活行為から住居の役割を見つける。 ☆鳥瞰図を利用し、具体的にイメージさせる。 ■家族の安全を考えた室内環境の整え方を考えよう。 ○室内の安全チェックをする。 ☆観察や調査により具体的な場所を見つけさせる。 ■快適な住まい方を工夫しよう。 ○具体的な道具を活用し検証する。 ☆幼児から高齢者までを意識させ、安全箇所の検証をさせる。
		■販売や支払い方法の特徴を知ろう。 ○自分の購買経験から販売方法の良否を話し合う。 ☆問題点の話し合いや購入目的の検討をさせる。 ■適切な選択・購入・活用を身につけよう。 ○「昼ご飯を買いに行こう」で購入を想定し、適切な選択を考える。 ☆具体的に物質・サービスの選択場面をイメージさせる。

第3学年

学習内容	時間数	学習活動 (■この項の学習課題／○生徒の活動, ☆教師の活動)
C 衣生活・住生活と環境	1 自分らしく着る・快適に着る	2. 日常着の手入れ (p.148～169) ①汚れと手入れ ②手入れと表示 ③衣服の洗濯 ④衣服の補修とアイロンかけ 3. 環境に配慮した衣生活 (p.170～173)
	3 生活を豊かにする	1. わたしや家族の生活を豊かにする工夫 (p.188～190) 2. 布を用いた物の製作 (p.191～201) ①製作の前に知っておこう ②製作して、活用しよう
		生活の課題と実践(衣生活・住生活) (p.250～253)
D 身近な消費生活と環境	3. よりよい消費生活のために (p.218～225) ①消費生活のトラブルを防ごう ②消費者の権利と責任 ③消費者を支えるしくみ	■日常着の手入れ名人になろう。 ○小学校の復習から洗濯の達人になる。 ☆洗剤や汚れの関係を実験させる。 ○クリーニングの達人から聞く。 ☆G.Tとして専門業者からクリーニング、しみ抜きやブラシかけ、アイロンかけについて学ぶ。 ■標準服・体操服の補修名人になろう。 ○小学校の復習とまつり縫い、スナップつけなどを班活動で行う。 ☆班の実習と話し合い活動で何度も繰り返す。
	4. 環境に配慮した生活 (p.232～237) ①環境への影響を考えた消費生活 ②持続可能な社会に向けて	■布を用いて生活を豊かにする物を製作しよう。 ○衣生活・住生活を豊かにする物を計画し製作する。 ☆自分や家族のためにつくることを意識させる。 ☆補修の技術を用いるように指導する。 ☆簡単につくれる物の事例を多く提示する。 ■衣服や住まいについて関心をもち、課題をもって生活を工夫し計画を立てて実践しよう。 ○問題点を改善して工夫する。 ☆衣生活や住生活の見直しや問題解決学習をすすめる。 ■消費者の基本的な権利と責任を知ろう。 ○悪質商法についてのロールプレイングに挑戦。 ☆消費生活のトラブルを調べさせ、ロールプレイングや、パンフレットなどを活用し、主体的に学習させる。 ■自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考える。 ○自分の生活をふり振り返り生活を改善しようとする。 ☆具体的にゴミや電気などの利用を考えさせる。 ○エコ商品を開発し、ポスターをつくらう。 ☆新入社員になってヒットエコ商品の開発を考えさせる。

技術・家庭 家庭分野 3年間を見通した年間指導計画案 例⑤

「D 身近な消費生活と環境」を中心にABCを展開し、持続可能な社会を生きる力を

週(時)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年 35時間	B 食生活と自立																D 身近な消費生活と環境																		
	① 食品の安全と情報 ② 保存のしかたを考える ③ 加工食品の選び方 ④ 加工食品の表示 ⑤ いろいろな加工食品 ⑥ 生鮮食品の選び方 ⑦ 食品が口に入るまで 2. 食品の選択と保存																① 野菜の調理 ② 肉の調理 ③ 調理の基本 ④ 調理の計画 ⑤ 調理をしよう ⑥ 梨の皮むき (テスト・小学校の復習・廃棄率) ⑦ しょうが焼き (肉の性質・ブロッコリー) ⑧ ムニエル (魚の性質・粉ふきいも) ⑨ けんちん汁VSミネストローネ (野菜の性質・汁もの)																		
	① 食生活の計画 ② 中学生に必要な栄養 ③ 栄養素のはたらきと食品 ④ 生活のリズムと食事 ⑤ 食事について考える 1. 健康と食生活																① 地域と世界へ目をむけて ② 受け継がれる食文化 ③ 地域の食材と郷土料理 4. 地域の食材と食文化																		
	① 生活に必要なものの流れ 1. 家庭生活と消費																① 水を節約し、排水の汚れを減らす ② エネルギー消費とCO ₂ 排出を減らす ③ 環境への影響を考える 4. 環境に配慮した生活																		
授業時数	1																2																		
学習指導要領	A(1)ア																B(3)ア																		
教科書該当頁	11~15																102~133																		
2年 35時間	A 家族・家庭と子どもの成長																C 衣生活・住生活と自立											D 身近な消費生活と環境							
	① わたしの成長 1. わたしの成長と家族																① 自分らしく着る・快適に着る 1. 自分らしく着る・快適に着る											① 快適に住まう 2. 快適に住まう							
	① わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと ② わたしたちの家庭生活と地域 ③ 家庭生活を支える仕事 2. わたしと家族・家庭と地域																① 衣服の活用と選び方 ② 自分らしく目的に合わせた着方 1. 衣服のはたらき 3. 環境に配慮した衣生活											① 住まいと音 ② 室内の空気調節 3. 快適な住まい							
	① 子どもの成長と地域 ② 子どもの成長と家族の役割 ③ 幼児の心の発達 ④ 幼児の体の発達 3. 幼児期ってどんな時代? 1. 幼児期ってどんな時代?																① 幼児の遊びを支える ② 幼児の遊びと発達 3. 幼児の生活と遊び											① 販売方法と支払い方法 ② 商品の価格 ③ 生活情報の活用 ④ 商品購入のプロセス 2. 商品の選択と購入							
授業時数	4																5											7							
学習指導要領	A(1)ア(2)ア																A(3)ア											C(2)イ							
教科書該当頁	18~27																28~39											180~187							
3年 17.5時間	C 衣生活・住生活と自立																D 身近な消費生活と環境											・持続可能な社会を生きる力を育てるため、「D 身近な消費生活と環境」を中心にABCを展開しました。 また、A~Dおよび「生活の課題と実践」は、次の点をポイントとして構成しました。 「A」・・・幼児とのふれ合い体験を取り入れる学習にしました。 「B」・・・食育推進を図り、地域や食文化を重視しました。 「C」・・・人を取りまく身近な環境として、衣生活・住生活に連続性をもたせました。 「D」・・・持続可能な社会を意識して、ABCにかかわらせてこれを展開し、最後に消費者教育を計画しました。 「生活の課題と実践」・・・1年と3年で行い、発展につなげるようにしています。 ・この年間指導計画案の具体的な学習指導案は裏面に掲載しています。							
	① 自分らしく着る・快適に着る 2. 日常生活の手入れ																① 生活の課題と実践(衣生活・住生活) 3. よりよい消費生活のために											① 持続可能な社会へ向けて ② 環境への影響を考えた消費生活 4. 環境に配慮した生活							
	① 環境に配慮した衣生活 3. 環境に配慮した衣生活																① わたしや家族の生活を豊かにする工夫 1. わたしや家族の生活を豊かにする工夫											① 生活の課題と実践(衣生活・住生活) 3. よりよい消費生活のために							
	授業時数	5																6											4.5						
学習指導要領	C(1)ウ																C(3)ア											D(1)ア(2)ア							
教科書該当頁	148~173																188~201											218~225,232~237							